

経済学部A方式Ⅱ日程・社会学部A方式Ⅱ日程
スポーツ健康学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60 分)

〈注意事項〉

1. 問題冊子・解答用紙では試験科目名を以下のとおり表記している。

科 目 名	表 記	ページ	科 目 名	表 記	ページ
公共, 政治・経済	政治・経済	2～22	歴史総合, 日本史探究	日 本 史	24～45
歴史総合, 世界史探究	世 界 史	46～65	地理総合, 地理探究	地 理	66～73
数学Ⅰ・Ⅱ, 数学A・B・C	数 学	74～79			

2. 試験開始の合図があるまで, 問題冊子を開かないこと。

3. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

4. 科目の選択は, 受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。
一度選択した科目の変更は一切認めない。

5. 数学は以下の注意事項に従うこと。

- ・解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
- ・解答はおもて面と裏面の所定の位置に, 上下の方向に気をつけて記入すること。
- ・解答を導く途中経過も書くこと。
- ・その他, 解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
- ・定規, コンパス, 電卓の使用は認めない。

6. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では, 鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆, ボールペン, シャープペンシルなどを使用しないこと)。

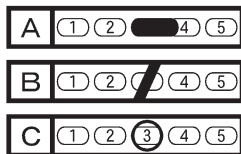
記入上の注意

1. 記入例 解答を 3 にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は, 消しゴムでよく消してから, あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり, 折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

7. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(世 界 史)

〔 I 〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

孔子は、周の時代を理想とした。周は、前11世紀頃に樹立された王朝であり、
① を都とした。この王朝は王の一族や功臣の他、土着の有力首長を世襲
の諸侯に任じて邑と周辺の土地を封土として与え、貢納と軍役を課した。周王や
諸侯の家臣は、卿・ ② ・士の身分に分けられた。この体制は封建制度と
呼ばれるが、擬制的なものも含めて血縁関係を伴った主従関係であった。したが
って、この封建制度を支えるのは、宗族における宗法という規範の遵守であり、
宗族における上下関係を律する礼という行動規範が社会全体の秩序をもたらすも
のとして重視された。この点で、孝という家族道徳を重視する孔子とも親和性が
あったのである。

しかし、やがて諸侯のなかに強い力をもつようになるものが現れはじめ、周王
朝が前8世紀前半に内紛と異民族の攻撃のために都を東遷すると、諸侯の自立化
はもはや止め難い流れになっていた。そして、かつては異民族扱いを受けていた
長江流域の国々などが勝手に王を称するなど、周王朝の権威が蔑ろにされるよう
になる一方、覇者を称する有力者の下に A のスローガンを掲げて集い、
周王朝の権威を守ろうとする諸侯たちもいた。しかし、そのスローガンも次第に
形骸化して単なる強国による覇権争いに変質していった。

その一方で、諸侯の国の中でも臣下に国を奪われるといった下剋上が見られる
ようになり、諸侯が王を称することも一般化していった。周王朝はその存在感を
完全に失い、強国は周囲の国を併吞しながら勢力を増していき、戦国の七雄と呼
ばれる7つの大国の争いに特徴づけられる時代になっていった。⁽¹⁾

これら7つの国のうち、秦は ③ 家の思想を採用して最強国へと成長し
ていった。まずは ア が富国強兵のための変法を実施した。そして、他の
6国を滅ぼし、全国を統一した秦王の イ の代には ウ が丞相とし
て仕えた。秦は、 ④ 制を征服地にも導入し、度量衡や文字などを統一し

た。また **B** と呼ばれる思想統制を行った。**イ** は初めて「皇帝」を名乗り、中央集権の統一国家の組織づくりに着手したが、彼が死去すると各地で反乱が起こり、全国統一後15年で秦は滅亡した。

その後、前202年に **エ** が漢王朝を樹立した。対外的には、この頃、モンゴル高原で匈奴の勢力が伸長したので、漢は匈奴に有利な和議を結ばざるをえず、国内的には、戦国時代の秦の領域には **④** 制を存続させ、それ以外の地域には諸侯王国を復活させたうえで、そこに諸侯王として功臣や同族を配置した。しかし、漢王朝は次第に権謀術策を弄して諸侯王の封土を削減しはじめたので、**(I)** の乱が起こった。この乱を平定した後、皇帝は諸侯王から領地での官僚任命権を奪い、中央から派遣された相と官僚に諸侯国の政治を執行させた。この結果、続く武帝の頃には全国に実質的な **④** 制を敷くことができ、皇帝権力の安定の一因となった。武帝は、対外的にも、これまで譲歩を重ねることで押しとどめていた匈奴を、武力的に撃退することに成功した。また、対匈奴同盟を結ぶために **オ** を大月氏に派遣したことにより、中央アジア方面にも進出し、さらには東北方面や南方にも支配領域を拡大した。⁽²⁾

この武力による版図拡大は、国家財政を窮乏させたので、武帝は、**あ** の専売と、均輸法と **⑤** 法を実施した。また、官吏登用制度として **⑥** を実施した。武帝の時代には、新たな形式で歴史書が編纂され、また、⁽³⁾儒学が **カ** の進言によって官学となった。前漢も後期に入り支配が安定してくると、皇帝権のさらなる確立のために祭祀の整備や政治の潤色が進められていくことになり、これらを得意とした儒学は皇帝との関係性を深めていくとともに、神秘主義を積極的に取り込んでいくようになり、儒学の儒教化が進んだ。外戚の **キ** が幼帝に代わって執政に当たるようになると、儒教的な色彩の濃い国制の改革を進めていった。そして、**キ** は、皇帝が夭折すると仮皇帝となり、その後「天命」を記したとされる符瑞によって自らを正当化して、漢王朝から皇帝位を奪い、新王朝を建てた。**キ** は、儒学で理想とされる周の政治を復活しようと、急激な改革を行ったが、現実離れした政策に終始したため、社会に大きな混乱をもたらした。新王朝は、農民を中心とした **(II)** の乱とそれに呼応した豪族の反乱で倒れ、豪族を率いた **ク** が皇帝位に就き、光

世界史

武帝となった。彼は漢王朝の一族だったので、漢を復興し(後漢)、を都とした。

後漢でも、儒家官僚は勢力をもったが、2世紀に入ると、幼くして帝位に即き、短命でなくなる皇帝が相次いだため、後見となる人物が権力を握るようになり、権力の奪取をめぐる外戚と宦官の間に抗争が生じた。加えて、豪族出身の儒家官僚と宦官の対立も激化し、儒家官僚に対するの禁と呼ばれる二度の弾圧事件も起きた。この内政の混乱は、皇帝による治水・灌漑事業の停滞を引き起こし、飢饉が相次いだ。は「蒼天すでに死す、黄天まさにたつべし」として184年に農民を率いての乱を起こした。鎮圧はされたが、各地の豪族が私兵を蓄え、群雄割拠状態となった。その後、220年に、献帝が魏王に禅譲して漢王朝は滅亡した。

問1 空欄～にもっとも適した人名を以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| a 王安石 | b 王羲之 | c 王莽 | d 岳飛 | e 甘英 |
| f 項羽 | g 公孫竜 | h 顧愷之 | i 司馬睿 | j 司馬炎 |
| k 朱熹 | l 商鞅 | m 鄭玄 | n 秦檜 | o 政 |
| p 曹操 | q 曹丕 | r 張角 | s 張儀 | t 張騫 |
| u 董仲舒 | v 班超 | w 李斯 | x 劉秀 | y 劉備 |
| z 劉邦 | | | | |

問2 空欄 ～ にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|------|------|--------|--------|
| a 科挙 | b 咸陽 | c 九品中正 | d 郷挙里選 |
| e 郡県 | f 鎬京 | g 市易 | h 縦横 |
| i 州県 | j 青苗 | k 太守 | l 大夫 |
| m 長安 | n 道 | o 屯田 | p 藩鎮 |
| q 兵 | r 平準 | s 法 | t 募易 |
| u 墨 | v 保甲 | w 揚州 | x 洛陽 |
| y 里甲 | | | |

問3 空欄 ～ にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|------|------|------|--------|
| a 永嘉 | b 黄巾 | c 紅巾 | d 黄巢 |
| e 八王 | f 三藩 | g 安史 | h 呉楚七国 |
| i 赤眉 | | | |

問4 下線部(1)に関して、秦以外の「戦国の七雄」6国をすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| a 燕 | b 韓 | c 魏 | d 呉 | e 齊 | f 蜀 |
| g 晋 | h 楚 | i 趙 | j 陳 | k 梁 | |

世界史

問5 下線部(2)に関連する説明として**誤っているもの**を次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア タリム盆地に進出し、敦煌などの4郡を置いた。
- イ 衛氏朝鮮を征服し、楽浪などの郡を置いた。
- ウ 南越国を征服し、その版図に9郡を置いた。
- エ 現在のベトナム中部にあたる地域には日南郡が置かれた。
- オ すべての正しい。

問6 下線部(3)に関連する説明として**誤っているもの**を次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 以前に編纂された『春秋』では秦の年代記が編年体で書かれていた。
- イ 司馬遷が紀伝体で武帝までの中国の歴史を記した。
- ウ 紀伝体は、帝王の年代記である本紀と、帝王以外の人物史である列伝を中心に記述される歴史書の形式である。
- エ 班固は紀伝体で前漢の歴史を記した『漢書』を作った。
- オ すべての正しい。

問7 空欄 にあてはまるものすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 絹 b 酒 c 塩 d 茶 e 鉄

問8 空欄 ～ にもっとも適した用語を漢字で解答欄に記せ。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

第二次世界大戦後、東欧諸国では、ソ連の後ろ盾を得た共産党主導の政権が次々と誕生した。1947年にアメリカの ア が国務長官として ア = プラン(ヨーロッパ経済復興援助計画)を提案すると、ソ連と東欧諸国は受け入れを拒否した。そして同年、⁽¹⁾ コミンフォルム(共産党情報局)が組織された。1949年、ソ連は東欧諸国と自給自足体制の確立を目的とする経済相互援助会議(コメコン⁽²⁾<COMECON>)を設立し、1955年には⁽³⁾ ワルシャワ条約機構(東ヨーロッパ相互援助条約)も発足させ、集団防衛体制の構築を進めるアメリカおよび西側諸国に對抗した。1948年にコミンフォルムから除名されたユーゴスラヴィアは、スターリン支配を拒否する イ のもとで独自の社会主義を模索し、ソ連に対して強い自主性を示すことになった。

スターリンの死後、1953年からソ連の共産党第一書記となった ウ は、ユーゴスラヴィア訪問を通じて関係改善を図った。スターリン批判をおこない、ユーゴスラヴィアへの歩み寄りを見せる ウ に反発し、 1 のホジャは1961年に対ソ断交を決めた。 ウ が示した非スターリン化の動きは、東欧の社会主義諸国に波紋を投げかけ、自由化を要求する声も強まった。1956年6月、ポーランドの A では労働者の暴動が発生し、この事件を経て、かつてソ連の衛星国となることを拒否して投獄された経験を持つ エ の政権が復活した。ポーランド政府は国内の反乱をみずから收拾することで、ソ連の軍事侵攻を回避した。ポーランド反政府・反ソ運動(A 暴動)は、ハンガリーに大きな影響を与えた。同年10月、 B ではじまった学生や労働者の蜂起は全国へ波及し、ソ連軍が戦車で運動を制圧する事態に発展した。民衆の要望に推されて首相に復帰していた改革派の オ は国内の動乱を收拾できず、逮捕され、1958年に処刑された。1961年、東ドイツは国民が西ベルリンへ亡命するのを阻止するために有刺鉄線を張りめぐらし、さらに石やコンクリートで壁を築いた。⁽⁴⁾

1960年代後半には、チェコスロヴァキアで民主化運動が活発になった。 カ は、1968年に「人間の顔をした社会主義」を掲げて国内の体制改革に着

世界史

手した。しかし、「 C の春」と呼ばれる、この自由化への動きを恐れたソ連がワルシャワ条約機構軍をチェコスロヴァキアに投入し、改革運動を弾圧した。1964年からソ連の共産党第一書記を務めていた キ は、社会主義圏全体の利益のために一国の主権が条件つきで制限されうるとする「制限主義論」(キ = ドクトリン)を唱え、チェコスロヴァキアに対する軍事介入を正当化した。

 キ = ドクトリンは、1988年に (5) ゴルバチョフ が発表した「新 D 宣言」によって放棄された。それは東欧諸国の民主化を促進した。1956年のハンガリー反ソ運動(ハンガリー事件)でソ連の軍事介入に呼応し、親ソ的な政府を組織した ク が1988年に退陣し、ハンガリーは結社法を合法化して複数政党制へ移行した。そして、 (6) オーストリア との国境に延びていた鉄条網を撤去し、人びとの往来を可能にした。1989年6月、ポーランドでは「連帯」が選挙で圧勝して非共産党政権が成立し、1990年にはかつて「連帯」議長だった ケ が大統領に当選した。チェコスロヴァキアにおいても、共産党体制の崩壊をもたらす民主化革命、いわゆる「ビロード革命」が実現した。1989年10月、東ドイツでは、長年国家元首として社会主義を堅持してきた コ が退陣し、11月にベルリンの壁が崩壊した。ルーマニアで長く権力を掌握し、独裁的に恐怖政治をおこなった サ は、政変のさなかに逮捕され、処刑された。ユーゴスラヴィアでは、1980年に イ が死去し、民族主義が再燃した。 (7) 1991年にクロアチアとスロヴェニアの両共和国が独立を宣言したことで、ユーゴスラヴィアが維持してきた連邦制は事実上、解体した。

問1 空欄 ～ にもっとも適した人名を以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------|--------------|
| a アイゼンハワー | b カーダール |
| c ケレンスキー | d ゴムウカ(ゴムルカ) |
| e シューマン | f チャウシェスク |
| g ティトー | h ドプチェク |
| i トルーマン | j トロツキー |
| k ナジ=イムレ | l ピウスツキ |
| m フーヴァー | n ブハーリン |
| o フルシチョフ | p ブレジネフ |
| q ペタン | r ホネカー |
| s マーシャル | t メンシェヴィキ |
| u レーニン | v ロイド=ジョージ |
| w ワレサ | |

問2 空欄 ～ にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|----------|---------|
| a クラクフ | b ザグレブ | c タリン |
| d ダンツイヒ | e ブカレスト | f ブダペスト |
| g プラハ | h ベオグラード | i ポズナニ |
| j モスクワ | k ヤルタ | l ワルシャワ |

問3 空欄 にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| a アルバニア | b エストニア | c ブルガリア |
| d ラトヴィア | e リトアニア | f ルーマニア |

世界史

問4 下線部(1)のコミンフォルム(共産党情報局)について述べた説明として正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ドイツからは、社会主義統一党が参加した。
- イ コミンフォルムにはイタリアとフランスの共産党も加わった。
- ウ コミンフォルムの最初の本部はブカレストに置かれた。
- エ コミンフォルムは冷戦終結まで維持された。

問5 下線部(2)の経済相互援助会議(コメコン〈COMECON〉)について述べた説明として**誤っているもの**を次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 原加盟国のチェコスロヴァキアにおいては、マーシャル＝プランの受け入れに賛成する勢力が1948年に内閣から追放され、共産党政権樹立のクーデタが起きていた。
- イ 経済相互援助会議によって、ソ連がエネルギーや原材料を輸出し、東欧諸国は工業製品や消費財をその対価として輸出するシステムが作られた。
- ウ モンゴル・キューバ・ベトナムも経済相互援助会議に参加した。
- エ 加盟国のあいだでソ連の支配体制への不満が高まり、経済相互援助会議は1960年代に解体された。
- オ すべての正しい。

問6 下線部(3)のワルシャワ条約機構(東ヨーロッパ相互援助条約)について述べた説明として**誤っているもの**を次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア ワルシャワ条約機構は、西ドイツのNATO加盟を機に結成された。
- イ ワルシャワ条約機構の統一軍司令部はモスクワに置かれた。
- ウ ブルガリアは、1968年のチェコスロヴァキアへの軍事侵攻に反発し、ワルシャワ条約機構を脱退した。
- エ ワルシャワ条約機構は1991年に解散した。
- オ すべて正しい。

問7 下線部(4)に関して、東西ドイツ分立からベルリンの壁建設へ至るまでの時期の西ドイツ・東ドイツについて述べた説明として**誤っているもの**を次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 東ドイツは、ドイツ連邦共和国としてソ連占領地区に成立した。
- イ 西ドイツの初代首相を務めたアデナウアーは、キリスト教民主同盟の党首であった。
- ウ 西ドイツの主権はパリ協定によって認められた。
- エ 西ドイツはソ連と国交を樹立した。
- オ すべて正しい。

世界史

問 8 下線部(5)のゴルバチョフについて述べた説明として**誤っているもの**を次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 最初で最後のソ連邦大統領を務めた。
- イ グラスノスチを柱のひとつとする、ペレストロイカを進めた。
- ウ ソ連のアフガニスタン撤退を完了した。
- エ アメリカのレーガン大統領とマルタ会談をおこなった。
- オ すべて正しい。

問 9 下線部(6)のオーストリアについて述べた説明として**誤っているもの**を次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 1938年、ドイツはヴェルサイユ条約に違反してオーストリアを併合した。
- イ 第二次世界大戦後、アメリカ・イギリス・フランス・ソ連はオーストリアを共同で管理した。
- ウ オーストリア国家条約によって、オーストリアはドイツとの合邦が禁止された。
- エ オーストリアは1955年に永世中立国となった。
- オ すべて正しい。

問10 下線部(7)に関連する説明として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

ア クロアティアとスロヴェニアは、ユーゴスラヴィア連邦において経済的先進地域であった。

イ クロアティアとスロヴェニアにつづき、ボスニア＝ヘルツェゴビナもユーゴスラヴィア連邦からの独立を宣言した。

ウ セルビア人は「大セルビア主義」による民族意識からユーゴスラヴィア連邦の解体に反対した。

エ クロアティアとスロヴェニアの独立宣言を受けて、モンテネグロとマケドニアは新ユーゴスラヴィア連邦を結成した。

オ すべて正しい。

世界史

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

「パレスチナ」は現在、地中海東岸のイスラエル、ガザ地区、ヨルダン川西岸地区で構成される地域として知られている。このパレスチナには、西暦紀元前1500年ごろ、ヘブライ語を話し、イスラエル人と自称する人びとが農耕や牧畜をおこなって暮らしていた。聖書によると、その後これらの人びとの子孫は、繁栄から苦難の歴史を経てユダヤ教を成立させ、⁽¹⁾ イエルサレムを中心に神権政治的な体制を確立した。

このパレスチナでキリスト教が誕生したのは1世紀である。そのころ、ユダヤ教は律法主義が進み、学者が知識を独占していた。貧富の差も拡大していた。そこにイエスが登場し、すべての人びとにおよぼされる神の愛を説いてユダヤ教を批判した。イエスはイエルサレムで十字架にかけられて処刑されたが、使徒たちの間でイエス復活の信仰が生まれ、キリスト教がローマ帝国内にひろがっていったのである。一方でユダヤ教徒は、ローマ帝国の支配に対して反乱を起こして失敗し、大勢がパレスチナから離散した。その後7世紀には、パレスチナはイスラーム教徒の勢力下に置かれた。⁽²⁾11世紀末には、ヨーロッパのキリスト教徒の勢力が、キリスト教の聖地があるイエルサレムを奪う目的で十字軍の遠征を開始した。⁽³⁾16世紀から20世紀初頭までは、パレスチナは、地中海沿岸部を中心に広域に領土を拡大させたオスマン帝国の統治下に入った。⁽⁴⁾

ユダヤ教徒は何世紀もの間にヨーロッパにも移住した。彼らは共同体を形成し、ヘブライ語とユダヤの宗教文化を維持したが、居住や生業などにおいて様々な制限を課された。しかし、キリスト教で禁止されていた金融業に携わって富を築く人びとも多かった。19世紀に入ると、ヨーロッパではユダヤ教徒を差別から解放する動きが広がり、ユダヤ教徒が各地の社会に同化する現象も見られた。他方で国民国家の建設を目指すナショナリズムが台頭してくると、反ユダヤ主義が強まり、同時にユダヤ系の人びとの間ではシオニズムが生まれた。⁽⁵⁾

オスマン帝国内でも言語や文化、居住地が異なる人びとの間で独立を目指す動きが強まっていた。こうしたなかで、第一次世界大戦では、⁽⁶⁾

1

 は敵対するオスマン帝国の領土獲得を目論み、三枚舌の秘密外交を実施した。まず1915年

から翌年にかけて、高等弁務官の はオスマン帝国に対するアラブ諸民族の反乱を促す目的で、戦後オスマン帝国の領内でのアラブ人の独立を認め、支援の用意があることを明言する書簡をメッカのシャリーフの と交わした。しかし、1917年、外相の は財力をもつユダヤ系の人びとから戦争資金を調達する目的で、自国のユダヤ人協会の会長でシオニスト連盟と親しい に書簡を宛て、パレスチナでのユダヤ人の「ナショナルホーム」の設立に好意を寄せる態度を表明した。しかもその間に、外交顧問の は1916年、 ならびに との間でオスマン帝国の領土分割を取り決める協定を の外交官の との間で結んでいたのである。

第一次世界大戦が終わると、 は , ならびに から分割したヨルダン、パレスチナを、 は , ならびに から分割した を委任統治領として獲得した。パレスチナでは、アラブ人が独立を求める一方で、 宣言によって後押しされたユダヤ系の人びとが世界各地から移住してきた。 はアラブ人とユダヤ系移住者の間の衝突に対処できず、第二次世界大戦後、委任統治権を放棄した。

国連は1947年、パレスチナをユダヤ国家とアラブ国家に分割する案を決議をした。この分割案は、パレスチナの全人口のおよそ3分の1程度を占め土地の約7%程度しかもっていなかったユダヤ人に、パレスチナ全土の約56%を与えることを意味していた。ユダヤ人に有利な条件の不当な内容だとして、アラブ人側は受け入れなかった。しかし翌年、パレスチナに移住したユダヤ人たちはイスラエルの建国を宣言した。アラブ諸国はこれに反発して出兵し、パレスチナ戦争(第1次中東戦争)が勃発した。⁽⁷⁾その後もイスラエルと、パレスチナのアラブ人(パレスチナ人)と彼らを支持する周辺国との間で抗争が繰り返されてきた。⁽⁸⁾しかし、イスラエルに有利な方向に状況が転じ、パレスチナ人はこれらの国に頼ることが難しくなっていった。

1993年、国際情勢の変化を受け、主にアメリカ、ならびに協定が締結された地である のホルスト外相の仲介で、パレスチナ解放機構(PLO)とイスラエルの間でパレスチナ暫定自治協定が結ばれた。⁽⁹⁾ところがイスラエルでは、協定を結んだイスラエルの首相が暗殺され、1996年に強硬派が政権をとった。する

世界史

と、ヨルダン川西岸地区で入植地を広げる政策がいつそう進行し、パレスチナ人を隔離する約700kmもの壁が建設された。

問1 空欄

1

 ～

7

 にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | | |
|---|------|---|---------|---|----------|
| a | アメリカ | b | アフガニスタン | c | アラブ首長国連邦 |
| d | イエメン | e | イギリス | f | イタリア |
| g | イラク | h | イラン | i | オランダ |
| j | カタール | k | クウェート | l | サウジアラビア |
| m | シリア | n | スウェーデン | o | デンマーク |
| p | ドイツ | q | トルコ | r | ノルウェー |
| s | フランス | t | レバノン | u | ロシア |

問2 空欄 A ～ F にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------|--------------|
| a サイクス | b サウード |
| c ダラディエ | d ハディース |
| e バルフォア | f バルバドス |
| g ピコ | h ビアフラ |
| i ヒジャーズ | j フセイン(フサイン) |
| k ブワイフ | l ファタハ |
| m マクマホン | n マッキンリー |
| o モンタギュー | p ロックフェラー |
| q ロスチャイルド | r ローズヴェルト |

問3 下線部(1)に関連する説明として正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ダヴィデ王はイエルサレムを都とし、その子のソロモン王は支配領域を拡大して交易で繁栄した。

イ イスラエル王国はアケメネス朝に征服された。

ウ 人びとはバビロンに連行され奴隷として使役されたが、シナイ山で預言者モーセに率いられて脱出した。

エ ユダヤ教は、メシアを唯一神とし、選民思想を特色とする。

世界史

問4 下線部(2)のイスラーム教徒の勢力の拡大に関する記述として正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ムハンマドの死去後、ウマルが初代正統カリフとしてウンマの最高指導者の地位を継いだ。

イ ユダヤ教徒は「啓典の民」として、ジズヤやハラージュの支払いなどを条件にズインミー(庇護民)とされた。

ウ イスラーム教徒の勢力は、ニコポリスの戦いなどでササン朝を破り、ササン朝を滅ぼした。

エ ウマイヤ朝の時に現在のパレスチナ地域はイスラーム勢力下に入った。

問5 下線部(3)について説明する文章として正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 11世紀にセルジューク朝がバルカン半島まで進出すると、ビザンツ皇帝はローマ教皇に助けを求めた。

イ 教皇インノケンティウス3世によって派遣された第1回十字軍は、イエルサレムを占領した。

ウ 神聖ローマ皇帝フリードリヒ2世は、アイユーブ朝のスルタンと交渉してイエルサレムを一時的に回復した。

エ たび重なる十字軍遠征によって、ヨーロッパと地中海を結ぶ交易が衰退した。

問6 下線部(4)に関連する説明として正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア オスマン帝国の統治下に入る以前、パレスチナはマムルーク朝の支配下にあった。

イ オスマン帝国は「万民との平和」を掲げて諸宗教勢力の融和をめざし、1564年、非ムスリムへのジズヤを廃止した。

ウ オスマン帝国は、ハディースにもとづいて、ユダヤ教徒が商業に携わることを禁じた。

エ オスマン帝国では、マンサブダール制によって、キリスト教徒農民子弟が強制徴用された。

問7 下線部(5)に関連して、反ユダヤ主義やシオニズムについて述べた文章として正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ドイツでは、ユダヤ系軍人ドレフュス大尉に対する冤罪事件が起きた。

イ ロシア語でポグロムと呼ばれる、ユダヤ系住民に対する集団的暴行や虐殺が起こった。

ウ シオニズムとは、ユダヤ系の人びとが自らの安全を確保するために世界各地で共同体をつくるディアスポラ運動である。

エ フランスではヴィシー政権が1935年にニュルンベルク法を導入し、ユダヤ人との通婚を禁止した。

世界史

問 8 下線部(6)でオスマン帝国の同盟国の組み合わせとして正しいものを下記の
ア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ロシア，オーストリア＝ハンガリー，ギリシア

イ エジプト，ギリシア，ブルガリア

ウ ドイツ，オーストリア＝ハンガリー，ブルガリア

エ エジプト，ギリシア，ロシア

問 9 下線部(7)に関連する説明として正しいものを下記のア～エから二つ選び、
その記号を解答欄にマークせよ。

ア イラン，イラク，ヨルダン，エジプトが出兵した。

イ イスラエル軍は圧倒的な軍事力によって国連の分割案を上回るパレスチ
ナの土地を占領し，イスラエルの支配領域を広げることに成功した。

ウ パレスチナで暮らしていたアラブ人の多くが難民化した。

エ アラブ産油国は反アラブの立場をとる国への石油の供給を制限し価格を
引き上げたため，第一次石油危機が起きた。

問10 下線部(8)に関連する説明として正しいものを下記のア～オから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1956年にエジプトによってスエズ運河の国有化が宣言されると、イギリスとフランスがイスラエルと共同してエジプトに出兵した。

イ 1964年、パレスチナ解放機構(P L O)が組織化され、武装闘争を展開した。

ウ 1967年、イスラエルは、エジプト、シリア、サウジアラビアに奇襲し、スエズ運河東岸の獲得に成功した。

エ 1973年、シリアは失った領土を回復するため、エジプトとともにイスラエルを攻撃し、ゴラン高原を取り戻した。

オ 第4次中東戦争で疲弊したエジプトとイスラエルは和平条約を結び、シナイ半島のイスラエルからエジプトへの返還が約束されたが、実行されなかった。

問11 下線部(9)について、パレスチナ解放機構(P L O)とイスラエルの代表の組み合わせとして正しいものを下記のア～カから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア アッバースーシャロン

イ アッバースーラビン

ウ アッバースーベングリオン

エ アラファトーシャロン

オ アラファトーラビン

カ アラファトーベングリオン